

移動を通じて「地域のウェルビーイング」を実現するパーソナルモビリティシェアリング事業（蒲郡市）

課題認識

[環境面]

- 地球温暖化の進行による市民生活・産業への影響
- 過度なマイカー依存社会

[経済面]

- 二次交通手段欠如による観光スポットの分散化
- 蒲郡発の新事業・サービスを生み出す活力の低下

[社会面]

- 地域の停滞感と地域への愛着低下



- 「サーキュラーシティ蒲郡」実現に向け、本事業を単なるゼロカーボン施策・交通施策ではなく、環境・経済・社会価値を両立させた地域のウェルビーイングを実現するための取り組みとして推進

取組内容

[概要]

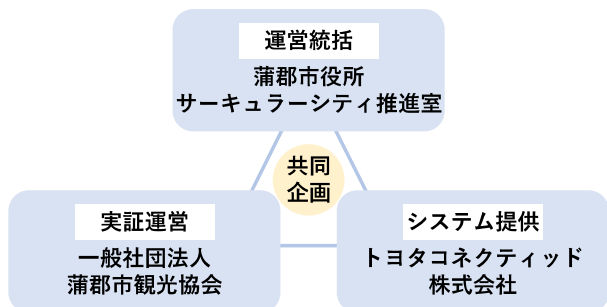
- 移動するという行為が「地域のウェルビーイング」に繋がっていくような仕組みを取り入れた、地元事業者を主体とした有償のパーソナルモビリティシェアリング事業
 - 実施内容：市内数か所にパーソナルモビリティを設置し、有償のシェアリングサービスを提供
 - 使用車両：電動トゥクトゥク（要運転免許）、免許不要のパーソナルモビリティ ※計10台程度
 - 実施期間：約1か月間 ※2024年11月～12月頃の実施を想定

[先進性・独自性]

- ICT技術を活用した「移動×ウェルビーイング」の可能性追究
- 中間目的も含めた移動ルート解析による具体的な利用シーン把握
- 人口分布や地点ごとの移動データ分析を通じた最適な車両設置場所の検討
- 地域循環型ビジネスモデルの追求
- 地域活性化の「自分ごと化」を促す住民参加型の立上げプロセス



実施体制



将来性

- 本事業は2025～2026年度の事業化を見据えた取り組みとして活動を推進

2022年度	2023年度	2024年度	2025～26年度
ニーズ検証	基礎データ収集	本番想定実証	事業開始
モビリティ試乗イベントを通じたニーズの確認	小規模なサービス展開実証(無償)を通じたサービス設計のデータ収集	本番を想定したサービス実証(有償)を通じたサービス仕様・運用設計の具体化	蒲郡市内での事業開始、継続的な改善による事業モデル確立

得られる知見

[移動を通じた地域活性化事例]

- 「移動×ウェルビーイング」の実現事例
- 「住民参加型」事業立上げモデルの実施事例
- [地方都市におけるシェアリング運営手法]
 - 域内事業者によるシェアリング運営モデル
 - 最適なシェアリング車両設置場所の選定方法
- [サービス設計に活用可能な実績データ]
 - パーソナルモビリティ利用者/シーンの具体像
 - サービス設計の指標となる各種実績データ